



# 紫陽花あじさいやきのふの誠

# けふの嘘うそ

## 正岡子規

梅雨の季節の暮らしをほんのりと楽しませて、時には人の心の移ろいも映し出すようなアジサイです。この時期、薄紅に青や紫と目にしみる路傍ぼうのアジサイは遠目にも映えています。太陽に輝くアジサイも目を引きますが、やっぱりに雨にぬれた花が一番のようです。

その名前は、集まるという意味の「アヅ」と藍色の「アイ」から生まれたともいわれますが、白楽天の詩にある花から「紫陽花」と書くようになったようです。

数日前は薄い緑色、昨日は白っぽかったのに今朝見ると淡いブルーにピンク、そして紫と、まさしく「七変化しちへんげ」。このように、花の色が変わっていくところから、「移り気うつりぎ」ほらふき「変節へんせつ」冷淡れんたんといった花言葉が付けられています。少々暗いイメージですが、一方で「辛抱強い愛情」といった、ポジティブな花言葉もあります。

先日、広報いぶすき(平成

3年7月特別号)を頂きました。指宿の未来を描くためには、過去に学び行政の継続性とまちづくりの方向性を大切にしてほしいとの思いから、貴重な広報誌をくださったものと思います。

「やすらぎ発見！古代ロマン漂う花と緑と砂むしの里」平成3年に策定した指宿市総合振興計画のキャッチフレーズです。25年前、指宿市の将来像を定めまちづくりの目標としています。その戦略プロジェクトの中に、現在取り組もうとしている事業がたくさん見られます。「指宿港海岸整備」「文化・スポーツ施設の整備」「池田湖環境整備」「新田開発」「中心商店街ショッピングセンター(シビックセンター構想)」「生産性の高い優良農地の保全」「砂むし・温泉健康センター」等々です。

サッカー競技場を整備することで、介護の必要な方々が車いすで散歩し、寝転んで芝生の匂いを感じながら空を見上げる場として、子どもたち

が思いっきり走り回る場としてなど、さまざまな活用がでています。

市民に親しまれ活用する施設として整備をするもので、決してJリーグなどプロ選手のためだけの施設ではありません。もちろんプロのキャンパスや試合を誘致することで、子どもたちに大きな夢や感動を与えることもできます。教育・観光・医療・福祉と多様な事業のできる多機能な場ともなります。

アジサイは小さい花が寄り添って、一つの美を作り上げています。このことから、相手を思い寄り添う気持ちを連想させ、「仲良し」「平和」「團結」という花言葉もあります。

「紫陽花や はなだに  
きのふ けふ(子規) かはる



指宿市長  
豊留悦男